

リコーダー奏者の荒川知子さん
ちば特別支援教育提供



☆千葉・第6回ふれあいコンサート—いっしょにとばそう しあわせのたね 11月6日13時、県教育会館大ホール。同日10～14時、きばーる1階のアトリウムの2会場。

障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しもうと毎年開かれているコンサート。NPO「ちば特別支援教育」主催、毎日新聞千葉支局など後援。

出演は千葉市出身でダウン症のリコーダー奏者・荒川知子さん(32)と、フルート奏者の父健秀さん、ピアノ教師の母幸子さんによるファミリーアンサンブル、千葉市の障害者施設などで音楽活動を行っている個人・団体、ソプラノ歌手の安藤多恵さん、県立磯辺高吹奏楽部などで、音楽の力で「心のバリアフリー」を目指す。

無料会場のきばーるには、横浜市から視覚障害者とその支援者によるマンドリンやギターなど5人構成のバンド「無礼面」などが参加。実行委員の西川信明さんは「昨年から街行く人にも楽しんでもらおうときばーるでも開催している。音楽や表現活動をしている障害者に発表の場を提供するとともに、千葉の街にふれあいコンサートライブを広げていきたい」と話している。

県教育会館は全席自由で500円。チケット申し込みは住所、氏名、電話番号を明記し、ファクス(043・201・0575)か、ちば特別支援教育ホームページのチケット購入フォームから申し込む。問い合わせ西川さん(090・2520・3513)。

【渡辺洋子】